



村章

広報

なまじん

1990年

3月

No. 172

毎月1日発行



写真はスイカをありがとうと喜ぶ兼小1年生たち



「おいしいスイカどうも
ありがとうございます」

今帰仁村農業協同組合（玉城賢三組合長）ではこのほど村学校給食センター（玉城喜久雄主任）に高価な早出しスイカを贈った。

スイカは児童生徒の給食に使って下さいとプレゼントされたもので、百十五。子どもたちにおらが村の特産品を食べてもらうとともに「今帰仁スイカ」をアピールしようというもの。

給食センターでは、早速二月十六日のメニューに加え、子どもたちに季節はずれの早出しスイカの味を楽しんでもらった。スイカをもらった子どもたちは「わあ！ おいしい！ ありがとう！」と感謝を込めてほおばっていた。

村政功労者を表彰

行政・産業・社会福祉などに貢献した九人

祝賀会を開き功績を讃える

今帰仁村表彰条例に基づいた村政功労者表彰式が二月七日、村コミュニティセンターホールで村内の各種団体、関係者約百五十人が参加して行われた。表彰条例は、昭和五十三年に

制定され、村の教育、産業、文化、慈善事業をはじめ公益事業等に功績のあった人たちを表彰し、その業績を讃えることを目的としたもので、表彰は一九八一年と八十二年、八十六年に次



▲関係者多数が出席して開かれた表彰式



吉田光正氏



小浜孝子氏



大嶺武治氏



上間カズ氏



西島光男氏



故島袋辰巳氏



仲里昭一氏



吉田郁子氏



松田幸福氏



現住所―仲尾次二五〇
役場職員として二十八年

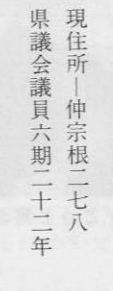
村政功労で表彰されたのは写真の方々です



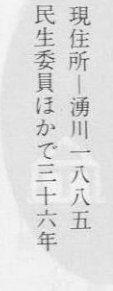
現住所―仲尾次七〇〇
役場課長として二十五年



現住所―越地十五
農協長として十五年



現住所―仲宗根二七八
県議会議員六期二十二年



現住所―湧川一八八五
民生委員はかて三十六年



現住所―仲宗根二七八
助産婦として四十四年



現住所―仲宗根出身
民生委員として十五年



現住所―上運天四一八
人権擁護委員はかて十八年

現住所―仲宗根一八八
村長として五期二十年

現住所―仲尾次二五〇
役場職員として二十八年

現住所―仲宗根二七八
助産婦として四十四年

500人が観劇

生きがいを求め

342人が学び修了

村社会教育学級合同閉講式

平成元年度に開催された高齢者学級、中央婦人学級、乳幼児学級、各小学校区家庭教育五学級に参加し、共に学習した仲間が一堂に会し、それぞれの学級で学び実践してきたことを話し合い、交流を深めることにより、今後の学級の充実発展を図るとの目的で村教育委員会主催の「社会教育合同閉講式」が一月二十三日午後二時から村コミュニティセンターで開かれた。

式には学級生を含めて約五百人の村民が参加。村歌斉唱、主催者あいさつ、来賓祝辞について、西島一将教育長からそれぞれの学級生代表に修了証書が授与された。

式辞で西島教育長は「各学級の趣旨をよく理解され、一年間受講された皆様ご苦勞様でした。生涯教育が叫ばれている今日、多くの村民が積極的に各学級に参加され、学習することによつ

て生きがいのある人生にしたい。いただきたい」とあいさつした。

各学級の活動経過報告の後は、北島角子、嘉数好子の両人による二人芝居「停留所の女」と元フォーシスターズの伊波貞子・久美子姉妹による民謡で楽しい一時を過ごした。

「停留所の女」は、近年の土地取引や開発にからむ様々な問題を提起する内容で、農家にとって土地は掛替えない大切なもので、いわば「命にも相当する」と観劇している人たちに大きな感銘を与えた。



▲北島角子、嘉数好子による二人芝居

▼500人が参加して開かれた合同閉講式



この発表によると、本村の面積は、従来の三九・三七平方キロメートルから〇・四八平方キロメートル増えて三九・八五平方キロメートルになりました。

なぜこのようなことになったかという疑問にお答えしました。従来は五万分の一の地図を基準に測定していたのに対し、近年、二万五千分の一の地図が全国的に整備完了したのを受け、倍の縮尺の地図を基準に測定をやり直したため等、測定技術の向上によって精度が高まったことによるものです。

村の面積は地方交付税などの算定基礎資料にもなるので、ちよつと得をした気分、それとも、これまでちよつとだけ損をしてきたかというべきか。

暖かい沖縄を訪れ保養研修

「第十三回リゾート大学沖縄酒田村」

子ども達に雪国の生活を体験させようと調査団酒田へ

暖かい沖縄に今年も北国、山形県酒田市から「リゾート大学沖縄酒田村」佐藤三郎団長の一行三十四人が訪れ、二月二日から五日まで村に滞在、各地を視察したり、村民と交流を深めた。「リゾート大学酒田村」は酒田市民の保養研修の目的で昭和五三年に始まり、毎年実施され今年で十三回目。延べ七百三十人が本村を訪れている。



▲到着後村役場で歓迎を受ける保養団

風山などを訪れ、ポカポカ陽気の中、風光明媚な景勝地を心ゆくまで楽しんだ。発掘修景整備が進められている今帰仁城跡では、仲原弘哲教育委員会学芸員の説明を聞きながら、メモを取ったり、自然の石を積み上げた城壁を見つめて感激した様子。嵐山では沖縄の味覚、パインやサターアングギー（黒砂糖天ぷら）などに舌鼓を打ち、たくさんのお土産を買い求めていた。そして、仲宗根老人クラブの皆さんとゲートボールで親睦を図った後、夜の歓迎会にのぞんだ。



▲今帰仁城跡で仲原さんの説明を受ける

歓迎会で上間博安村長は「心からリゾート大学酒田村の皆さんを歓迎申し上げます。暖かく緑豊かな今帰仁村を心ゆくまで楽しんで下さい。この交流をいつまでも続けていきましょう。」とあいさつ。佐藤団長は「心温まる歓迎に感謝しています。暖かい沖縄での楽しい思い出をいっぱい持ち返りたい。これからは長いお付き合いをお願いします。」と答えていた。



▲酒田の踊りを披露する保養団

歓迎会では、美味しい料理を囲み、互いに酒を酌み交わしながら、金城メリー琉舞教室のメンバーによる舞踊や村婦人委員会による踊り、今泊の棒術を堪能した。また、三日目は海洋博記念公園の熱帯ドリームセンターや水族館を訪れ、真冬の今が盛りと咲き誇っているランの花々の美しさに目を奪われていた。



▲仲原馬場を訪れた皆さん

▼琉舞で一行を歓迎



▼末永く交流を深めようと乾杯

区長さんかわる

兼次・仲尾次で 越地・上運天

ご協力をお寄せください

今年の一月一日から、村内の三つの字（兼次、越地、上運天）の区長が、そして二月一日付で字仲尾次の区長さんがかわりました。

字兼次では、玉城久資さんから玉城光正さん（住所・兼次二五九、電話・五六―三二七〇）に、字越地では、島袋松助さんから玉城信雄さん（住所・平敷五六三、電話・五六―四四九五）に、字上運天では、上地啓常さんから宮城辰夫さん（住所・上



兼次区長 玉城光正さん



仲尾次区長 田場盛善さん



上運天区長 宮城辰夫さん



越地区長 玉城信雄さん

運天一四一八、電話・五六―三九六三）に、字仲尾次では、国吉真順さんから田場盛善さん（住所・仲尾次五五〇、電話・五六―二三三三）に、それぞれかわりました。前任の区長の皆様大変ご苦労様でした。前任の区長の皆様大変ご苦労様でした。前任の区長の皆様大変ご苦労様でした。

春の全国火災予防運動週間

三月一日(木)〜七日(水)



有害な紫外線から生命を守る。地表十キロから五十キロあたりの上空に、とくにオゾンが多いところがあります。これを「オゾン層」といい、太陽から降り注ぐ有害な紫外線を吸収し、地球上の生物の生命を守ってくれています。

フロンを減らし地球を守る

オゾン層の保護

有害な紫外線から生命を守る

フロンは、ヘアスプレーやカーブレーター、冷蔵庫の冷媒やパソコンなどの集積回路（ICチップ）の洗浄などに使われています。日本のフロンの使用量は、アメリカに次いで世界第二位。日本だけで世界のフロンの一割以上を使っています。

フロンの使用量は世界第二位

フロンは、ヘアスプレーやカーブレーター、冷蔵庫の冷媒やパソコンなどの集積回路（ICチップ）の洗浄などに使われています。日本のフロンの使用量は、アメリカに次いで世界第二位。日本だけで世界のフロンの一割以上を使っています。



商品を使う

フロンは、ヘアスプレーやカーブレーター、冷蔵庫の冷媒やパソコンなどの集積回路（ICチップ）の洗浄などに使われています。日本のフロンの使用量は、アメリカに次いで世界第二位。日本だけで世界のフロンの一割以上を使っています。



また、オゾン層を守るためのシンボリックなキャラクターをつくり、「オゾンちゃん」というニックネームをつけて、オゾン層保護の大切さを訴えるようにしています。

このため、世界の国々は、今世紀末までにフロンを全廃しようとして、検討を進めています。

オゾン層を守ることは地球を守ることであり、ひいてはわたしたち一人一人を守ることもです。地球を生物の住めない星にすることは避けたいですね。

り、ブランクトンなどの小さな生物が、死んでしまったりするといわれています。このままオゾン層が破壊されていけば、将来、生物の生態系に大きく影響を与えることは必

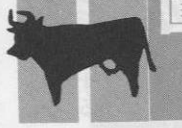
役場の電話を改善 五六一二二〇一

これまでかかりにくかった役場の電話が代表電話装置に改善

バイオ研究室を設置

クローン牛の生産をめざして

県畜産試験場(諸志在)



牛の受精卵移植技術の研究を進め、低コストで優秀な牛を多数繁殖させる技術を確認し、牛肉の輸入自由化に対抗していこうと、このほど字諸志にある県畜産試験場(富里真昭場長)のバイオ研究室(大城俊弘室長)が完成。二月十四日、県の関係者らが出席して看板開きが行われた。

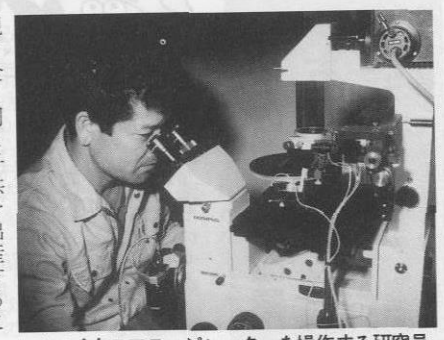
県農水部と同試験場の関係者ら約五十人が見守る中、村木の琉球松のふ厚い板に「バイオ研究室」と書かれたふ厚い看板を



▲受精卵移植について説明する渡久地研究員

平田穀農林水産部次長と富里場長の二人の手で開かれると大きな拍手が沸いた。記念植樹の後、出席者らは、研究室内で施設の概要と装置、受精卵移植技術について渡久地政康主任研究員から説明を受けた。同試験場では、三年前に初めて受精卵移植牛を誕生させ、昨年十一月には双子牛の出産も成功させている。そこで、より高度な受精卵分割移植技術の開発を目指すためバイオ研究室を設置したものの、同研究室は、

鉄筋コンクリート平屋建てで、床面積が百三十三・八平方メートル。事務所兼データ処理室、受精卵処理室、洗浄室などから成り、受精卵を徐々にマイナス三七度にして保存するためのプログラムフリーザーや卵の状態を倒立顕微鏡を通して調べながらビデオ録画やコピーのできる装置、器具類を洗浄するための蒸留水や純水を作る装置などのほか、クローニング(遺伝的に



▲マイクロマンニピレーターを操作する研究員

高度な技術開発には室長以下三人の技術スタッフが当たり、研究された内容については、県家畜保健衛生所の職員や県内の畜産関係者らに研修を通して伝授し、県内の農家に普及させる計画。渡久地主任研究員は「バイオ技術によって低コストで優良牛を大量生産できるように研究に取り組み、農家の期待にこたえていきたい」と抱負を語っていた。

京都府で不動産会社を営んでいる石川四郎さんと夫人の久子さん(宇宙にここに会長)は一月二十六日、村社会福祉協議会(松田幸福会長)を訪ねて三十万円の寄付をした。

村社協に30万円の寄付

京都の石川さんから

石川さんは、昭和五十年の海洋博のころ仲尾次海岸付近の土地を購入。ところがその土地の一筆に地域住民の墓十基がある

ことを、墓地の返還交渉で京都を訪れた喜屋武治樹さん(村議)から聞いてびっくり。墓地まで買って地域住民に迷惑をかけた一と、このほど墓の所有者らに土地を無償で返還。そして、南国沖繩の旅の途中、村民へのお詫びのしるしとして村社協を訪れ「体の不自由な人たちのために役立てて下さい」



▲寄付金は石川さんご夫妻から松田会長に渡された

と善意を寄せたもの。なお、同施設が完全に機能するのは四月以降の予定。バイオという最先端の技術が早期に確立し、輸入自由化を乗り切っていきたいところ。

教育の基盤は家庭に

P T Aの役割について討議 県高校P T A研究大会



▲約700人が参加して村コミセンで開かれた研究大会

よりよい教育環境の実現などをスローガンに掲げ、一月二十、二十一日の両日にわたって村コミュニティセンターを主会場に、「第十六回県高等学校P T A研究大会」が開かれた。県内各地から約七百人が出席して、P T Aの活動の活性化と青少年の健全育成などをテーマに、四つの分科会で研究討議を重ね、中途退学者、アルバイト、

学力向上問題など、高校教育の抱える諸問題について活発に討議した。それらの問題解決のためには、学校、家庭、社会が連携していかなければならないことを確認し、特に家庭における父母の役割は重大であり、「家庭教育こそ高校教育の基盤とならなければならない」との決議文が採択された。またP T A活動に貢献された



金良宗幸さん

金良宗幸(北部地区P T A連合会長・北山高校P T A会長)ら四十二人が表彰された。

なお、今大会から初めての試みとして会員の親睦と交流を図るために宿泊研修にし、北山高校体育館で山羊汁や豚汁などの郷土料理を囲んで遅くまで和やかに交流を図った。研究大会での四分科会の内容は概ね次のとおり。

第一分科会

「青少年の健全育成とP T Aの活動」について討議した第一分科会では、遅刻、欠課、欠席をなくす生徒の基本的生活習慣と、弁当持参と家庭教育について、実践報告がされるとともに、フロアからの質問などを通して討議を深めた。その結果、学校と父母が連携を密にし、指導に当たらなければならないとして

第二分科会

第二分科会では「P T A活動の推進」をテーマに討議され「子

供の教育の基盤は家庭にあり、子供を健全に育成するには、まず親が自覚し、学習する親になり、組織全体として取り組み、学習するP T Aに変容することが大切だとしている。

第三分科会

「高校教育の振興とP T A活動」をテーマに研究発表や討議が行われ、高等学校中途退学の要因として、目的意識の欠如や不本意入学、基礎学力の欠如、家庭環境のひずみなどがあることをあげ、P T Aと学校側が協力して対策に当たらなければならないことを話しあった。また、大学への進学率の低迷は地域全

体としての家庭学習の絶対時間が少ないことが問題であるとしている。

特別分科会

「定時制の現状と課題」をテーマに取り上げた特別分科会は、学年制から単位制に移行する泊高校の抱える現状と課題についての報告と住民意識調査にもとづく報告がされ、経済的安定で生活が向上したことにより、地域父母の教育熱もかなりのものであることや定時制では、地域文化やワープロ、パソコンなど情報化社会を反映したカリキュラムの希望が多いことをあげている。

ご寄付

社会福祉に役立ててほしいと村社会福祉協議会に次の方々から寄付がありました。

- ◎名嘉山文さん(宇津川五八八)から夫・良喜さんの香典返しとして五万円。
- ◎喜屋武栄長さん(宇仲尾次九二)から母・カナさんの香典返しとして五万円。
- ◎北山高等学校生徒会からクラブ祭バザーの収益金として六千三百二十六円。

◎沖縄電力労働組合名護分会チャリティーダンスパーティー実行委員会(多和田真及委員長)からダンスパーティーの収益金の一部十三万円。また、人材育成に役立ててほしいと村育英会にも寄付がありました。

◎新城春代さん(宇今泊二〇五七)が開設している英語講座の受講料の中から五万円。

※皆様のご芳志大変ありがとうございました。

お知らせ 四月一日から新しい 被保険者証に変わります

国保の被保険者証が四月一日から新しいものに変わります。四月一日以降は、いままでの被保険者証は使用できなくなり、まず、印鑑、被保険者証を持参のうえ各字公民館で更新の手続きを行って下さい。

1 保険者証の返還

国民健康保険関係の法令の一部改正により、災害などの政令で定める特別の事情がないのに保険税を滞納している世帯からは保険証を返してもらいうこととなります。

2 被保険者資格証明書を交付

国民健康保険者証を返してもらう場合は、代わりに被保険者資格証明書をお渡しします。

3 おとし寄りの場合

国民健康保険税を滞納して、被保険者資格証明書を交付された世帯の中に、老人保健で診療を受けている七十歳（寝たきりの人は六十五歳）以上のおとし寄りや原爆被害者、その他厚生省令で定める医療によって診療

に、国民健康保険税を滞納している世帯主には、国民健康保険の給付の全部、または一部を給付しない場合があります。



お医者さんにかかるときには顔見知りでも保健証を窓口へ提出して下さい。

保険税の決めかた・納めかた

1 国保をささえる保険税

保険税は、みなさんの国保を運営するための大切な財源です。保険税は国や都道府県からの補助と合わせて、みなさんが病气

2 保険税の決めかた

保険税は基本として次の方法のうち、市区町村が組み合わせ

- ◎所得割 □世帯の収入に応じて計算する
- ◎平等割 □一世帯にいくらかと計算する
- ◎均等割 □世帯の加入者に応じて計算する
- ◎資産割 □世帯の資産に応じて計算する

ペッタンコペッタンコ 新春もちつき大会 村社会福祉協議会

村社会福祉協議会（松田幸福会長）の主催する新春もちつき大会が二月三日午後二時から村コミュニティセンター中庭で

開かれた。大会は、広げよう福祉の輪を合くばに毎年開かれていて今年で三回目。これには上間博安村長はじめ「乙羽学園」「ことばの教室」の関係者やボランティアアから村民約百二十人が参加した。松田会長、上間村長のあいさつの後、ペッタンコ、ペッタンコと楽しそうにもちをつくる子どもたちの表情は明るく生き生きといた。さっそく

▼杵を振り上げねばり強くもちをつくる子どもたち



子ども達が共同募金

赤い羽根・ユニセフ・交通遺児に配分

「ぼくたちも共同募金に協力します」と村内の小中学生たちが各学校で実施した募金をこのほど村社協に寄託した。集まったお金は、一人ひとりの小さな力をつなぐため、大きな善意に結びつけようと、校内放送やポスターで呼びかけ、空缶を利用して取り組んできた

▼募金を社協会長に託す今中の代表



小中五、九二二円。

保育所園児募集

三月十三日まで受付



村では村営保育所四月入所の三歳児と四歳児を若干追加募集しています。ご希望の方は三月十三日（火）までに厚生課児童福祉係に申込んで下さい。＊詳しいことは電話でお問い合わせ下さい。電話・五六二二〇一

法務大臣から感謝状

上間カズさん（前人權相談委員）

長い間村民の人權相談に尽くしてきた上間カズさんにこのほど、法務大臣から感謝状が贈られ、一月二十五日、村役場で伝達式が行われました。上間さんは、昭和四十六年から昨年十二月まで人權相談委員を務め、人權の擁護と人權思想の啓発普及の高揚に尽くし、毎月十日に行われている人權相談を欠かさず実施してきた功績が認められたものです。

▼法務局名護支局長から感謝状の伝達が行われた



ひゃあ 冷めた〜い

滋賀県からの雪の贈り物に感激 文通で交流深める



兼次小学校4年生たち

「暖かい沖縄の皆さんお元気ですか。社会科の教材とサトウキビ、黒糖ありがとう」と二月十八日、村立兼次小学校四年生二十九人(担任・古堅文子先生)に滋賀県の小学校から発泡スチロール箱いっぱい雪が届けられた。

雪を送ってくれたのは滋賀県の山奥、土山町の鮎河小学校四年生たち十二人と西村忠三先生。きっかけは、四年生の社会科の授業で寒い地方や暖かい地方の人々のくらしを学習することになっていて、西村先生から「沖縄のことについて子どもたちに教えたい。子どもどうし文通させたい」と古堅先生に電話があった。古堅先生は心よくOKの返事をして、さっそく沖縄のことがよく分かるようにとスライドを作成、村の副読本や色々な資料とサトウキビ、黒糖、そして子どもたちの手紙を添えて鮎河小学校に送った。兼次小からの手紙に「沖縄は暖かくて雪が降らないので見たこともない」と書かれているのを読んだ鮎河小学校では「雪国の感触をどうぞ」と、冷たい雪のほのぼのとしたプレゼントを送ってきたもの。

▼雪の感触をたしかめたしかめはしゃぐ子どもたち



古堅先生は「西村先生の申し出を受けてよかった。子どもたちが文通を通して異なる地域の人々のくらしや文化が学べるのは大変意義あること。今後も交流を深めたい」と喜んでいた。

難しい！でもできた！ さあ、あがれ大空高く！

村親子たこあげ大会

「新春の大空に夢とロマンをあげよう」と村教育委員会が主催する「今帰仁村親子たこあげ大会」が一月十四日午後一時から村運動公園で開かれた。

▼たこ作りを通して親子の絆を深めることができた



がらの挑戦。たこが出来上がると、さやかに晴れ上がった大空高くあげようと風向きを気にしながら、広いグラウンドを駆け回った。調子よくあがらずに、すぐ墜落したりで何度も調整しながら挑戦。手作りだこで親子の絆を深め、楽しい一日を過ごした。



▲堅いガードをくぐりぬけてのシュート

優勝 男子一天底 女子一古宇利

村教育委員会主催の「第十八回今帰仁村少年少女ミニバスケットボール大会」が二月十一日午前八時二十分から湧川小中学校体育館で行われた。

九対二十二の接戦で天底チームが湧川チームを破って優勝を飾った。女子は、古宇利チームと湧川チームが決勝で対戦、古宇利チームが五十対二十四のダブルスコアで湧川チームを下し優勝した。

もを育てていこうと毎年二回対抗で開かれている。出場した男女それぞれ八チームが日頃の練習の成果を発揮し熱戦を展開した。

今帰仁村育英会

優秀な人材育成に寄与

育英資金貸与申し込みは三月三十一日まで

昭和四十年に創設された村育英会は、優秀な学生で経済的理由により、修学が困難な者に対し育英資金を貸与し、有効な人材の育成を図っています。会長は村長で、副会長は村教育長、理事として議長、助役、収入役、教育委員長、区長会長、婦人会長、学校教育課長、社会教育課長があつています。なお運営に要する経費は、補助金、寄付金、その他の収入をあてることになっていきます。

貸与の申し込みを受け付けています

村内に住所を有する方の子弟で、貸与を希望する方は村育英会(教育委員会学校教育課)へお申し込みください。

資格要件

- ①高等学校及び高等専門学校または大学に進学・在学している方
- ②学業および品行が優良でかつ身体強健であること

貸与金額(月額)

- ①高校生………五千円
- ②県内大学生……一万円
- ③県外大学生……一万五千元

申請の手続き

貸与を受けようとする方は三

西平さんが表彰

日本赤十字社から

滞納者も数人います。年々資金が増えているとはいえ、育英資金の基盤はまだまだ脆弱です。償還がスムーズになされず、滞納者が増えると後輩の奨学資金に充てることができなくなります。ですから後輩のためにも未償還者の皆さんのご協力をお願いいたします。

このほど行われた日本赤十字社沖縄県支部創設百周年記念大会において同今帰仁分区分担職員西平貞子さん(謝名七四〇)が日赤社長と県支部長からそれぞれ表彰された。



西平貞子さん

●村民カレンダー

1990年

3月

弥生



3/1 木	○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00)	17 土	○おもちゃ図書館(コミセン 9:00~12:00) ○学力向上対策研究会(コミセン14:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:00)
2 金	○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00)	18 日	
3 土	○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:00) ○天小金管バンド演奏会	19 月	
4 日		20 火	○手話サークル (コミセン19:30~21:00)
5 月	○ことばの教室 (コミセン13:00~17:00)	21 水	○春分の日
6 火	○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00)	22 木	
7 水	○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00) ○歯科検診 (コミセン和室13:00)	23 金	○離乳食実習 (中央公民館13:30~16:00)
8 木	○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○DPT予防接種 (コミセン13:00~14:00)	24 土	○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:00)
9 金	○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00)	25 日	
10 土	○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:00) ○句会(コミセン娯楽室14:00~17:00) 山原俳句会	26 月	
11 日	○小学生ホッケー大会 (運動公園)	27 火	○手話サークル(コミセン19:30~21:00)
12 月	○ことばの教室 (コミセン13:00~17:00)	28 水	○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00) ○リハビリテーション(コミセン13:00~15:00)
13 火	○国頭・中頭社会教育研究大会(8:00~17:00) ○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○手話サークル (コミセン19:30~21:00)	29 木	
14 水	○リハビリテーション(コミセン13:00~15:00) ○心配ごと相談 (コミセン13:00~17:00)	30 金	
15 木	○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00)	31 土	○おもちゃ図書館 (コミセン 9:00~12:00) ○健康相談 (保健婦室 9:00~11:00)
16 金	○ことばの教室 (コミセン 9:00~12:00) ○乳児健診 (コミセン13:00)	4/1 日	

必ず冷えてから
天ぷら油を捨てるとき
 天ぷら油を凝固剤で固めて捨てる場合には、油が完全に冷えてから捨てるようにしましょう。熱いまま、ゴミ箱などに捨てる、発火する危険がありますので注意してください。

消防記念日
 一百万人を超える
消防団員
 三月七日は「消防記念日」です。この日は、市や町や村の自治体消防制度が新しく出発することになったことを記念して設けられたものです。
 平成元年四月現在、自治体消防の中心となる消防団員は、百万人を数え、地域の防火活動に大きな役割を果たしています。
 住民のみならず、こうした地域の防火活動にできるだけ参加して、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識をもちましょう。